

2010年(平成22年)7月30日 金曜日 (20)

# 大学電気系教員 210人議論交わす

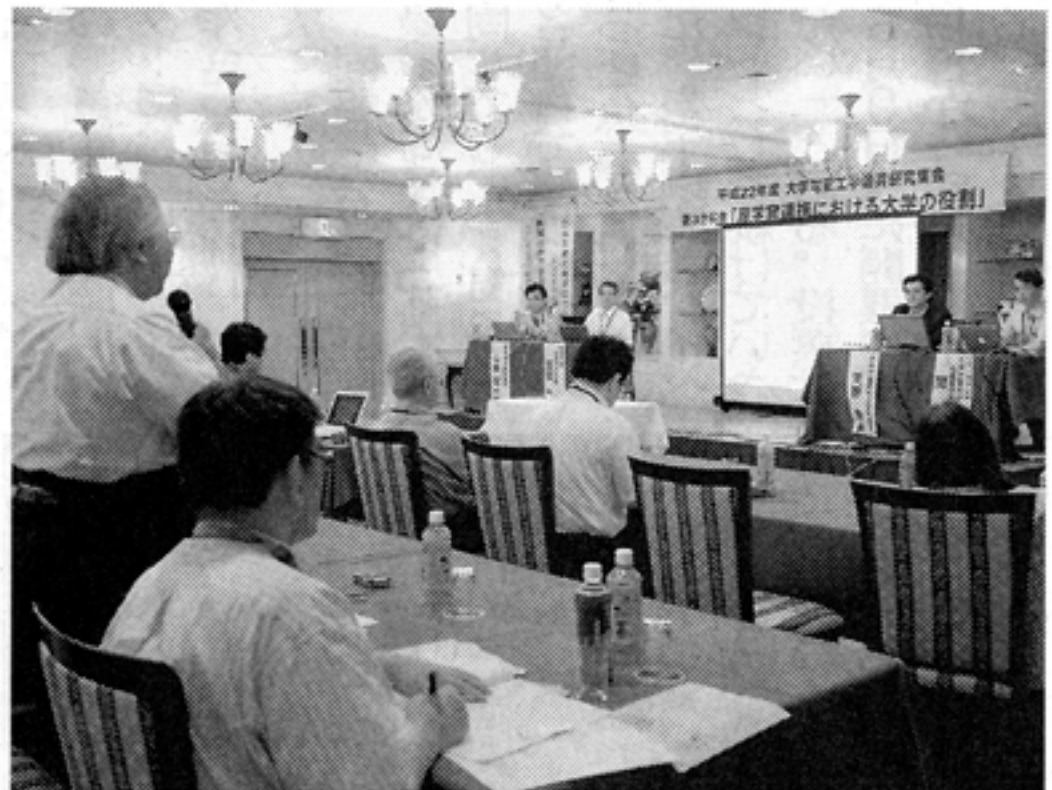
## 県内初、八戸で研究集会

大学の電気系学科の教育問題について議論する大学電気系教員協議会の研究集会が29日、八戸市の八戸グランドホテルで開かれた。

産学官の連携や大学と地域の交流、エネルギー教育などについて議論を交わした。

岩手大学工学部の高木浩一准教授は、大学生による小学校への出前授業などを通じて、子どもの「理科離れ」に対処し、人材を育成しようとする取り組みを紹介。

高木准教授は「実験を通じて科学への興味を持たせ、それを失わせないことが大切。教材を作る大学生自身も



活発に議論する参加者ら

学習し、成長できる」と述べた。

幹事大学である八戸工業大学の社会連携学術推進室長の関秀廣教授は「研究集会が勉強場になるのはもちろんだが、開催地の幹事校となることで、地元企業や全国の大学とのネットワークがより一層深まった」と語った。